

柔道しずおか

令和2年3月 静岡県柔道協会発行

事務局 〒422-8004 静岡市駿河区国吉田5-1-1 公益財団法人 静岡県体育協会内 静岡県柔道協会事務局
TEL 090-1832-9084 FAX 055-988-3611
メール shizuokajudo5803@yahoo.co.jp

【巻頭言】

新時代への一步を踏み出す

静岡県柔道協会 会長 野田 昭一



海外での柔道普及に尽力された方々のご苦労が、こうして花開き実を結んでいるのだと思います。

平成から令和へと、時代は移り変わってまいりました。時代の転換点にたってみますと改めて先哲たちの歩まれた道に思いを致さないわけにはいきません。1964年の東京オリンピックから柔道競技が採用され、以後多数のメダリストを輩出してきた日本柔道界。同時に世界200カ国の国や地域で、スポーツとしての柔道普及が進み、「JUDO」なる言葉が広く認識されるに至りました。特にヨーロッパにおいては、イギリスやフランスといった柔道大国が出現し、世界選手権やオリンピックでの金メダリストを誕生させてきました。指導者として、

学校教育現場での武道必修化に伴い静岡県でも実技指導員という形で、中学校での柔道の指導をされた先生方も多くいらつしゃったと思います。そうした流れの中で、各道場の先生方や教育現場の先生方の努力の賜物として、現在の静岡県柔道の発展につながっていったと感じております。地道に種をまき、水やりや草取りといった手間をかけ、丹精込めて育てていくという農業と相通じるものがあります。

近年至る所で少子化・高齢化が議論されており、時代の為せる業とは申しても、いかんともしがたく柔道界も避けて通れない喫緊の課題として多くの先生方が話題とされています。

柔道選手が少ない、柔道をやる子どもが少ない、と嘆くよりも柔道の魅力をあらゆる場面・機会を通して発信し続けることが大切ではないかと考えています。その点では今年に正に絶好の年となるのではないかと強く感じています。56年ぶりにやってくる東京オリンピック・パラリンピック、そして静岡県では全国中学生柔道大会が静岡市のこのはなアリーナにて開催されます。柔道の持つ心身鍛錬という要素や、礼儀を重んじる文化の継承、思いやりあふれた態度の醸成等大いに魅力ある素材としての柔道を多くの方々を知っていただくことが肝要と考えます。同時にトップアスリートたちを目的に当たりをすること、柔道を学んでいる子どもたちの興味・関心も一層大きなものとなるはずですから、そのために、今私たちが出来ることは何か、どうすれば実現可能なのか、といった議論こそ必要ではないでしょうか。

「以て世を補益する」とした「柔道修行の究竟の目的」に合致するものとしての例と考えると、ただくのが適当かと思えます。新時代を迎えて、多くの先生方のご協力やご理解のもと、静岡県のご協力やご理解のためにみんなで知恵を出し合い、忌憚のない意見を披露して何が有効なのかを見極めていくことが大切だと考えています。その中でいわゆる「静岡方式」「静岡モデル」といったものが作られ実践されて成果を収めることができたならば、一つの成功モデルとして波及することも考えられます。そのためには先人たちの教えに学び、時代のニーズを読み取る目を持つよう心がけていかなくてはならないと考えます。容易い道りでないことは理解していただきます。だからこそ、新時代への一步を踏み出す力強さが必要だと考えています。皆様方のご協力・ご理解を賜りたく、お願い申し上げます。

第74回 国民体育大会柔道競技報告

第74回国体(いきいき茨城ゆめ国体)が開催された。本年は成年男子が全都道府県出場、東海予選を経て女子が出場した。少年男子は東海予選で敗退し、全国出場を逃した。

特に女子は平成15年の静岡国体以来の準優勝(当時は成年女子というカテゴリー)という成果を挙げてくれた。男女の監督に試合経過等を報告していただ

成年男子



監督 渡部成也(静岡県警察)
先鋒 小林大貴(静岡県警察)
次鋒 多田陽平(静岡県警察)

中堅 齋藤光星(静岡県警察)
副将 米山竜生(東海大学2年)
大将 久松達斗(静岡県警察)

【一回戦】静岡県3-1岩手県

★小林大貴○(合わせ技) | 米沢星南

小林、米沢ともに左組みの相四つ。小林は一本背負投や小内刈、米沢は袖釣込腰や足技で攻める。開始1分27秒で小林が組際の一本背負投で「技あり」を奪う。3分過ぎ、米沢が寝技で迎えたところを小林が見逃さずそのまま横四方固で一本勝ち。チームに勢いをつける一点を先取る。

★多田修平○(反則) | 谷地浩太

多田は右組み、谷地は左組みのケンカ四つ。多田は大内刈や捨身技、谷地は背負投で攻める。開始1分頃消極的な谷地に(指導1)。多田は常に前に出て攻めの姿勢を崩さず、2分過ぎに谷地に(指導2)。3分20秒、多田の圧力に耐えきれず谷地は思わず偽装攻撃で(指導3)勝負あり。多田の反則勝ちで2点リード。

★齋藤光星×(引分) ×細工藤

徹

齋藤、細工藤ともに左組みの相四つ。齋藤は一本背負投や内股、細工藤は内股や大外刈で技の応酬が続く。その後お互い決定打が出ず本戦終了。

★米山竜生○(大外刈) | 坂口真人

米山、坂口ともに左組みの相四つ。米山は大外刈や大内刈、坂口は内股や払腰で攻める。互いに技の応酬が続き一進一退。終盤米山が足技からの連絡技で大外刈を施すと「技あり」。優勢勝ちを収め、この時点でチームの勝利が確定。

★久松達斗 | (反則) ○橋本憲宗

久松(右組み) 谷地(左組み)のケンカ四つ。大柄な橋本が前に出て圧力をかけ、下がる久松に消極的指導1が与えられる。久松も組際の技を仕掛けるが、偽装攻撃で指導2。3分3秒、技の出ない久松に対し指導3となり反則負けで試合終了。敗戦するもチームは2回戦へ進む。

【二回戦】静岡県0-1茨城県

★小林大貴 | (背負投) ○田中崇晃

左相四つの対戦。1分13秒、

田中が小内刈からの連絡で、小林が体勢を崩したところへ背負投が決まり一本。1点先行される。

★多田陽平×(引分) ×石郷岡秀政

右相四つの対戦。前半から技の応酬が激しい展開。多田が背部を持ち捨身技を仕掛ければ、石郷岡は背負投で返す。終了間際、技を掛け合いもつれながら互いに倒れ込むもノースコアで試合終了。

★齋藤光星×(引分) ×田嶋剛希

齋藤左、田嶋右のケンカ四つ。序盤は互いの攻防が続く。1分過ぎたところで組手争いが続き双方に指導1。終了間際に田嶋がラストスパートをかけ技を繰り出す。齋藤が消極的になったところで指導2となるもタイムアップ。

★米山竜生×(引分) ×石川竜多

互いに左組の相四つの展開。互いに技を仕掛けるものの決定打とならず。2分過ぎ組み合わない両者に指導1が与えられる。その後も組手争いが続き、膠着状態。決定機もなく試合終了。

★久松達斗×(引分) ×神谷快

ここで何とか同点に持ち込みたいところである。互いに右組

で久松は出足払や大内刈、神谷は足技で応酬。1分すぐに消極的な久松に指導1。2分半過ぎたところで消極的な両者に指導が与えられ、久松は指導2、神谷は指導1となる。その後も久松は攻めきることができず試合終了。0対1で静岡県チームの敗退が決まる。

《総括》

本県選手は警察官4名、大学生1名という比較的若いチームで、雰囲気の良いチームであった。本大会では、古豪岩手県に対して圧勝し、優勝候補の茨城県には惜敗と、内容的にも今後大きくつながる試合であったと感じている。反面、決定力不足が課題として浮かび上がった。現行ルールに適合するためには、投げ技をしっかりとし身につけなければならないと強く感じた。今回出場した選手たちは、この経験を通してさらなる自己の成長・研鑽に努めてほしいと願っている。

最後になりましたが、柔道協会会長をはじめ多くの方々が茨城まで激励に駆けつけていただいたことに感謝申し上げます。

女子



静岡女子 準優勝!

八月に開催された東海ブロック予選では、岐阜・三重に快勝するも、愛知に1-0と接戦を落とし、2位での本選出場枠を獲得となりました。

十月の「いばらぎ国体」では、東海ブロック予選を共に戦った。次鋒 岡本理帆(ひらまつ病院) 中堅 袴田佳名瑚(藤枝順心高校)の両選手が、実業団個人及び国際大会と重なり欠場、次鋒・中堅の二名を入れ替えた新チームでの挑戦となりました。

女子 監督・コーチ・選手

監督 根本哲郎

コーチ 古内千夏

静岡県警察

東海大静岡翔洋高校教諭
加賀谷千保

次鋒 52kg以下(少年)
藤枝順心高校教諭
川口優

中堅 52kg超~63kg以下(少年)
山梨学院大学4年
杉山月琉

副将 63kg超~78kg以下(少年)
東海大静岡翔洋高校1年
山本杏

大将 無差別(成年)
藤枝順心高校3年
米川明穂

※出場都道府県の実情に応じて次鋒・大将のいずれかを少年種別年齢域の者とすることも可能。

女子は全国より各ブロック予選を勝ち抜いた21都道府県と開催県の茨城県を含めた22県によるトーナメント方式で開催されました。

一回戦(シード)

二回戦

静岡県1-0愛媛県

先鋒 川口優×田中愛夢

次鋒 谷川美歩×宇高菜絵

中堅 杉山月琉×岸田桃佳
副将 山本杏○(反則勝ち) 立川真奈

大将 米川明穂×井上愛美

準々決勝

静岡県2-0神奈川県

先鋒 川口優×山北朱莉
次鋒 谷川美歩○(技あり) 込山未菜

中堅 杉山月琉×鈴野杏優
副将 山本杏×朝飛真実

大将 米川明穂○(合技一本) 佐俣優依

準決勝

静岡県1-1埼玉県

先鋒 川口優×山口さき
次鋒 谷川美歩×富沢佳奈

中堅 杉山月琉(技あり) ○渋谷萌々音

副将 山本杏×佐藤星麗七
大将 米川明穂○(合技一本) 石塚早稀

決勝 谷川美歩 引分 立川莉奈

右の相四つ。組手を争いが続き互いに技が決まらない。残り40秒両者に「指導1」で引き分け。

中堅 杉山月琉(合せ技) ○山口葵良梨

杉山左、山口右のケンカ四つ。開始20秒、杉山に偽装攻撃で「指導1」。1分44秒、山口の内股が「技あり」、そのまま袈裟固で抑えて合せ技「一本」。

副将 山本 杏(僅差) ○丸山みかの

山本右、丸山左のケンカ四つ。開始45秒、山本は偽装攻撃で「指導1」。残り1分、山本に偽装攻撃で「指導2」。そのまま時間となり丸山の僅差勝ち。

大将 米川明穂(大外巻込) ○児玉ひかる

左の相四つ。組み手争いから児玉は払腰で攻めるも効果なし。開始55秒、米川は組まず「指導1」。1分28秒、児玉が組み際に大外巻込を決めて「一本」。

谷川(キャップテン)談

茨城国体では、静岡県チームが一丸となり準優勝という結果を残すことができ嬉しかった。

す。成年男子のサポートや先生方の応援がとても心強く力になりました。

総括

どの試合も接戦、選手が実力以上の力を出し切り、ワンチャンスをものにしてくれました。「チーム静岡」を合言葉に、選手、コーチ、国体スタッフ、決勝戦まで残り応援サポートしてくれた成年男子チームの協力と、すべてが上手く噛みあった結果が、「準優勝」につながったと思います。



第61回 静岡県柔道祭開催

令和元年11月4日、静岡県武道館にて第61回静岡県柔道祭が開催された。各種別において地区大会4位までが本戦に出場し、熱戦が繰り広げられた。また今年度の表彰者・優秀選手・優秀指導者並びに試合結果等については以下の通りである。

表彰者(敬称略)

功労章

大山銃一、寺田特太郎

奨励章

岩瀬達彦、岩澤勇治、菊池 傑、青木達之、佐野宏明、渡部成也、白井恵子、岡本 孝、筒井信行

優秀団体章

国体女子チーム(茨城国体第2位)
藤枝順心高校(高校総体女子団体3位)
優秀指導者章
加賀屋千保(藤枝順心高校教諭)

澤崎 進(清水町柔道会)

優秀選手章

米川明穂(藤枝順心)
袴田佳名瑚(藤枝順心)
山本 杏(藤枝順心)
加藤遼馬(静岡学園)
佐々木心瑞(清水町柔道会)

試合結果

小学生の部

1位 育誠館道場
2位 藤枝柔道倶楽部

3位 富士宮柔道会、笠井柔道館
中学男子の部

1位 東海大学付属静岡翔洋

2位 育誠館道場

3位 静岡学園、長岡

中学女子の部

1位 東海大学付属静岡翔洋

2位 市立沼津高校中等部

3位 長岡、北浜東部

高校男子の部

1位 加藤学園

2位 静岡学園

3位 浜松商業、浜松城北工業

高校女子の部

1位 藤枝順心

2位 東海大学付属静岡翔洋

3位 静岡学園、市立沼津

一般の部

1位 静岡県警察

2位 静岡刑務所

3位 静岡産業大A、和道場

優秀選手

小学生の部
杉山笑資(育誠館道場)

門倉寛太(藤枝柔道倶楽部)

中学男子の部

嶋山彪馬(東海大学付属静岡翔洋)

内山久羽吾(育誠館道場)

中学女子の部

中道咲桜(東海大学付属静岡翔洋)

勝亦千尋(市立沼津)

高校男子の部

小田春樹(加藤学園)

福田翔大(静岡学園)

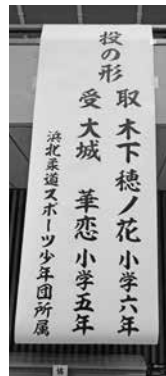
高校女子の部

早瀬杏香(藤枝順心)

金杉一葉(東海大学付属静岡翔洋)
一般の部

入江 翼(静岡県警察)

村松良祐(静岡刑務所)



各種大会の報告

第41回全国高等学校柔道選手権大会

平成31年3月20日、21日

男子団体戦 日本武道館

女子団体戦 2回戦敗退

加藤学園

藤枝順心 準々決勝敗退(敢闘賞)

男子個人戦

60kg級

加藤 遼馬(静岡学園)

2回戦敗退

66kg級

田中大介(飛龍) 2回戦敗退

73kg級

白石 諄(加藤学園)

3回戦敗退

81kg級
柴田蓮音(東海大翔洋) 2回戦敗退

無差別級
福田力斗(浜松商業) 2回戦敗退

女子個人

48kg級

吉永 繭(藤枝順心) 2回戦敗退

52kg級

百田久佳(藤枝順心) 3回戦敗退

57kg級

袴田佳名瑚(藤枝順心) 3回戦敗退

63kg級

芦沢佑奈(藤枝順心) 2回戦敗退

無差別級

米川明穂(藤枝順心) 3位

平成31年度全日本力デ柔道体別選選手権大会

平成31年4月14日

東和薬品RACTABドーム(大阪府立門真スポーツセンター)

男子73kg級

宇津山英弥(浜松城北工業) 1回戦敗退

女子44kg級

百田久奈(藤枝順心) 1回戦敗退

女子57kg級

杉山月琉(東海大翔洋)

1回戦敗退

第34回皇后杯全日本柔道選手権大会

平成31年4月21日

横浜文化体育館

女子個人戦

米川明穂(藤枝順心高) 3回戦敗退

第39回全国少年柔道大会

令和元年5月5日 講道館

予選リーグ

板野町柔道教室(徳島) 3位

2育誠館

常総市体育協会石下柔道部(茨城) 4-0育誠館 予選リーグ敗退

令和元年度全国警察柔道選手権大会

令和元年5月14日

警察庁術科センター

男子個人戦

90kg級 齋藤光星 3位

100kg級 久松達斗 3位

令和元年度第67回静岡県高等学校総合体育大会柔道競技

令和元年5月18日、25日

静岡県武道館

第16回静岡県小学生学年別柔道大会

令和元年5月19日

静岡市北部体育館

男子5年45kg級

- 1位 高岡颯人(富士宮柔道会)
- 2位 渡邊以蔵(伊豆長岡柔道会)
- 3位 大城脩也(育誠館)
- 佐藤佑真(神戸館)

男子5年45kg超級

- 1位 杉本晴哉(育誠館)
- 2位 末岡アキラ(笠井柔道館)
- 3位 早瀬澄人(育誠館)
- 福井蓮王(潤おんぼ柔道クラブ)

男子6年50kg級

- 1位 藤田郁磨(富士市柔道会)
- 2位 杉山笑資(育誠館)
- 3位 佐野迅羽(富士宮柔道会)
- 狩野 央輔(静岡東部柔道クラブ)

男子6年50kg超級

- 1位 川合 遼(藤枝柔道クラブ)
- 2位 米山大夢(小山町柔道連盟)
- 3位 庄司琉惺(小山町柔道連盟)
- 大橋弘誠(豊田柔道クラブ)

女子5年40kg級

- 1位 鈴木彩夏(清水町柔道会)
- 2位 日吉七美(函南柔道会)
- 3位 北井杏樹(養神館)
- 福尾玲心(袋井スポーツ協会)

女子5年40kg超級

- 1位 佐々木心瑞(清水町柔道会)
- 2位 勝又美涼(御殿場市柔道連盟)
- 3位 中津川くるみ(南部柔友会)
- 山崎 優花(育誠館)

女子6年45kg級

- 1位 松村美来(永友会)

- 2位 今井葵彩(神戸館)
- 3位 袴田有里奈(和道場)
- 渡辺ミラノ(富士宮柔道会)

女子6年45kg超級

- 1位 高田 樹(富士市柔道会)
- 2位 渡邊美海(神戸館)
- 3位 富永あい子(神戸館)
- 吉永芭奈(富士共栄道場)

第68回静岡県高等学校校定通制
体育大会柔道競技

令和元年5月26日

浜松市武道館

男子団体戦

- 1位 富士
- 2位 浜松工業

男子個人戦 65kg級

- 1位 中山晟汰(浜松工業)
- 2位 平岡サトシ(浜松工業)
- 3位 水野永遠(クラーク浜松)

75kg級

- 1位 ロドリゲスビクトルサトウ(富士)
- 2位 池田賢生(鹿島浜松)
- 3位 ジョナタヒデキ(新居)

90kg級

- 1位 大村マサシ(浜松工業)
- 2位 大村マサシ(浜松工業)
- 3位 水野永遠(クラーク浜松)
- ロドリゲスビクトルサトウ(富士)

無差別級

- 1位 村井フェリペ(富士)
- 2位 高橋紀好(小山)
- 4位 高橋紀好(小山)

- 5位 村井フェリペ(富士)
- 6位 池田賢生(鹿島浜松)
- 7位 水野夢人(クラーク浜松)

女子個人戦 52kg級

- 1位 内山田美幸(富士)
- 2位 原田くるみ(クラーク浜松)
- 3位 デジャダメリッサ(富士)

63kg超級

- 1位 久保敷さくら(新居)
- 2位 原田くるみ(クラーク浜松)
- 3位 デジャダメリッサ(富士)
- 4位 内山田美幸(富士)

無差別級

- 1位 原田くるみ(クラーク浜松)
- 2位 デジャダメリッサ(富士)
- 3位 久保敷さくら(新居)
- 4位 内山田美幸(富士)

2019年度静岡県ジュニア
柔道体重別選手権大会

令和元年6月8日

静岡県武道館

男子個人戦

- 60kg級 1位 加藤遼馬(静岡学園高)
- 66kg級 1位 根布長聖生(静岡産業大学)
- 73kg級 1位 白石 諄(加藤学園高)
- 81kg級 1位 柴田蓮音(東海大翔洋高)
- 90kg級 1位 中谷 隼(静岡学園高)
- 100kg超級 1位 加古裕慈(加藤学園高)
- 100kg超級 1位 深井大雅(加藤学園高)

女子個人戦

- 48kg級 1位 吉永 繭(藤枝順心高)
- 52kg級 1位 百田久佳(藤枝順心高)
- 57kg級 1位 袴田佳名瑚(藤枝順心高)
- 63kg級 1位 橋口英子(静岡学園高)
- 70kg級 1位 山本 杏(藤枝順心高)
- 78kg級 1位 高山美憂(藤枝順心高)
- 78kg超級 1位 米川明穂(藤枝順心高)

東海形競技会

令和元年6月30日

名張市武道交流館

投の形

- 正治和也・岡本健吾3位
- 固の形 森田賢一・猪又 功4位
- 極の形 小椋俊彦・鈴木慎一2位
- 柔の形 菊池優貴乃・原田祐花2位
- 講道館護身術 鈴木清仁・曾根由多2位

- 五の形 小笠原 淳・小林賢治3位
- 古式の形 渡邊達也・磯部正博1位

- (全国大会出場)

全日本ジュニア体重別選手権大会東海ブロック予選

令和元年7月7日

愛知県武道館

男子個人

60kg級 加藤遼馬(静岡学園) 3位

66kg級 根布長聖生(静岡産業大) 1位

73kg級 白石 諄(加藤学園) 3位

81kg級 柴田蓮音(東海大静岡翔洋) 2位

90kg級 矢崎洋介(静岡学園) 4位

100kg級 植松大郎(日大三島) 3位

100kg超級 深井大雅(加藤学園) 3位

48kg級 吉永 繭(藤枝順心) 3位

52kg級 百田久佳(藤枝順心) 3位

57kg級 袴田佳名瑚(藤枝順心) 1位

63kg級 橋口英子(静岡学園) 3位

70kg級 山本 杏(藤枝順心) 2位

78kg級 高山美憂(藤枝順心) 1位

78kg超級 米川明穂(藤枝順心) 1位

各種別・階級1位は全国大会

出場。

令和元年度 静岡県成年体重別柔道選手権大会

令和元年7月15日

静岡県武道館

男子個人戦

60kg級 小林大貴(静岡県警察) 1位

秩父良亮(静岡産業大学) 2位

石川俊介(国土館大学) 3位

日高大地(静岡産業大学) 3位

73kg級 多田陽平(静岡県警察) 1位

正治和也(静岡県警察) 2位

村松良祐(静岡刑務所) 3位

須藤行義志(静岡刑務所) 3位

90kg級 齋藤光星(静岡県警察) 1位

佐藤威基(東海大学) 2位

大橋昂文(日本体育大学) 3位

田倉淳ノ介(龍谷大学) 3位

無差別級 米山竜生(東海大学) 1位

久松達斗(静岡県警察) 2位

飯沼元紀(静岡県警察) 3位

高木一石(筑波大学) 3位

女子個人戦

52kg級 成田菜那(聖明病院) 1位

矢野ダニエリ(日柔柔道クラブ) 2位

70kg級 原田祐花(静岡県警察) 1位

無差別級 菊池優貴乃(静岡県警察) 1位

静岡県中学校総合体育大会 柔道競技の部

令和元年7月25日、26日

静岡市北部体育館

男子団体戦

1位 静岡翔洋中等部

2位 長岡中

3位 城南静岡中

静岡学園中

女子団体戦

1位 藤枝順心中

2位 静岡翔洋中等部

3位 北浜東部中

市立沼津中等部

男子個人戦

50kg級 犬塚創互(笠井中) 1位

田中公介(函南中) 2位

高森誠悟(静岡学園中) 3位

村松鉦輔(鹿玉) 3位

55kg級 小林勇斗(静岡翔洋中) 1位

服部鼓士郎(湖東中) 2位

菊池 暁(長岡中) 3位

寺田葵依(大富中) 3位

60kg級 長澤拓海(静岡学園中) 1位

佐藤壮真(笠井中) 2位

福澤純之輔(日大三島中) 3位

高橋光琉(城南静岡中) 3位

66kg級 田中友介(高台中) 1位

堀 洗人(市立沼津中) 2位

吉光寺舜馬(長岡中) 3位

青木滉明(清水七中)

73kg級 渡邊大虎(長岡中) 1位

萩澤 昂(城南静岡中) 2位

市川 丸(吉原一中) 3位

横山虎汰(静岡学園中) 3位

81kg級 飯田叶輝(高台中) 1位

末岡(う)じ(笠井中) 2位

渡邊琉雅(静岡翔洋中) 3位

鈴木友輝(細江中) 3位

90kg級 鈴木大空(静岡学園中) 1位

井口豪琉(北浜中) 2位

沖山 智(観山中) 3位

木内銀平(静岡翔洋中) 3位

90kg超級 牧野夢希(静岡翔洋中) 1位

杉山彪馬(静岡翔洋中) 2位

中山龍一(北浜中) 3位

岡本剛道(長岡中) 3位

女子個人戦

40kg級 岡本和花(藤枝順心中) 1位

吉田旺布(聖隷中) 2位

金子穂尚美(市立沼津中) 3位

渡部梨々花(静岡学園中) 3位

44kg級 勝亦千尋(市立沼津中) 1位

原川珠緒(藤枝順心中) 2位

渡部華奈(静岡学園中) 3位

木下葉合花(浜北北部中) 3位

48kg級 原田詩依菜(藤枝順心中) 1位

吉田季布(聖隷中) 2位

秋田光姫(袋井中) 3位

古川爽月(中郷西中)

52kg級 安食妃那(藤枝順心中) 1位

金 桃圭(新居中) 2位

秦 朱里(市立沼津中) 3位

金森朱音(鷹岡中) 3位

57kg級 城本綾乃(静岡翔洋中) 1位

夏目彩夢奈(引佐南部中) 2位

永田りん子(静岡翔洋中) 3位

安竹克海(静岡翔洋中) 3位

63kg級 永井愛琉奈(引佐南部中) 1位

近藤小晴(藤枝順心中) 2位

飯塚玲生良(市立沼津中) 3位

石川 楓花(大淵中) 3位

70kg級 袴田彩郁(北浜東部中) 1位

外岡叶芽(市立沼津中) 2位

柘植あおい(静岡翔洋中) 3位

石川愛美(鷹岡中) 3位

70kg超級 中道咲桜(静岡翔洋中) 1位

太田美紀(北浜中) 2位

ダシルバカローナ(磐田南部中) 3位

漆畑みずき(籠上中) 3位

全国定時制通信制高等学校 柔道大会

令和元年8月4日

講道館

男子団体 2回戦敗退

女子団体 1回戦敗退

男子個人戦

65kg級

90kg級 渡邊爽偉(加藤学園)	5位	73kg級 白石 諄(加藤学園)	1回戦敗退	66kg級 水野晶斗(浜松西)	2回戦敗退	63kg級 久保敷さくら(新居)	5位	63kg級 原田くるみ(クラーク浜松)	2回戦敗退	53kg級 内山田美幸(富士)	2回戦敗退	90kg級 大村マサシ(浜松工業)	2回戦敗退	75kg級 ロドリゲスビクトルサトウ(富士)	5位	75kg級 中山晟汰(浜松工業)	3位
---------------------	----	---------------------	-------	--------------------	-------	---------------------	----	------------------------	-------	--------------------	-------	----------------------	-------	---------------------------	----	---------------------	----

男子個人 鹿兒島市鹿兒島アリーナ	令和元年8月9日~13日	78kg級 高山美憂(藤枝順心)	2回戦敗退	70kg級 山本 杏(藤枝順心)	2位	63kg級 荊沢佑奈(藤枝順心)	2回戦敗退	57kg級 袴田佳名瑚(藤枝順心)	2位	52kg級 川口 優(東海大静岡翔洋)	1回戦敗退	48kg級 吉永 繭(藤枝順心)	3回戦敗退	100kg級 加古裕慈(加藤学園)	3回戦敗退	100kg級 深井大雅(加藤学園)	2回戦敗退	100kg級 女子個人 深井大雅(加藤学園)	2回戦敗退
---------------------	--------------	---------------------	-------	---------------------	----	---------------------	-------	----------------------	----	------------------------	-------	---------------------	-------	----------------------	-------	----------------------	-------	------------------------------	-------

男子個人 藤枝順心	3位	70kg級 袴田彩郁(北浜東部中)	3位	63kg級 永井愛琉奈(引佐南部中)	1位	52kg級 安食妃那(藤枝順心中)	1位	48kg級 原田詩依菜(藤枝順心中)	3位	44kg級 勝亦千尋(市立沼津中)	3位	40kg級 岡本和花(藤枝順心中)	3位	30kg級 女子個人 岡本剛道(長岡中)	2位	20kg級 女子個人 岡本剛道(長岡中)	2位	10kg級 女子個人 岡本剛道(長岡中)	2位
--------------	----	----------------------	----	-----------------------	----	----------------------	----	-----------------------	----	----------------------	----	----------------------	----	----------------------------	----	----------------------------	----	----------------------------	----

女子個人 藤枝順心中	3位	70kg級 中道咲桜(静岡翔洋中)	3位	66kg級 青木滉明(清水七中)	2位	63kg級 渡邊大虎(長岡中)	2位	60kg級 服部鼓士郎(湖東中)	2位	55kg級 小林勇斗(静岡翔洋中)	1位	52kg級 鈴木大空(静岡学園中)	2位	40kg級 女子個人 渡邊爽偉(加藤学園)	1回戦敗退	30kg級 女子個人 渡邊爽偉(加藤学園)	1回戦敗退	20kg級 女子個人 渡邊爽偉(加藤学園)	1回戦敗退
---------------	----	----------------------	----	---------------------	----	--------------------	----	---------------------	----	----------------------	----	----------------------	----	-----------------------------	-------	-----------------------------	-------	-----------------------------	-------

男子個人 加藤学園	4回戦(準々決勝)敗退	78kg級 米川明穂(藤枝順心)	1位	70kg級 山本 杏(藤枝順心)	2位	63kg級 芦沢佑奈(藤枝順心)	2回戦敗退	57kg級 袴田佳名瑚(藤枝順心)	2位	52kg級 川口 優(東海大翔洋)	1回戦敗退	48kg級 吉永 繭(藤枝順心)	3回戦敗退	40kg級 女子個人 藤枝順心	3位	30kg級 女子個人 藤枝順心	3位	20kg級 女子個人 藤枝順心	3位
--------------	-------------	---------------------	----	---------------------	----	---------------------	-------	----------------------	----	----------------------	-------	---------------------	-------	-----------------------	----	-----------------------	----	-----------------------	----

全国高校総体

令和元年東海中学校総合体
育大会柔道競技の部

令和元年度全国高等学校総
合体育大会

2019年度第16回全国小
学生学年別柔道大会

第50回全国中学校柔道大会

令和元年8月17日～20日

ウイנק武道館(兵庫県立武道館)

男子団体

静岡翔洋中等部 予選リーグ敗退

女子団体

藤枝順心中

決勝トーナメント1回戦敗退

男子個人

50kg級

犬塚創互(笠井中)

1回戦敗退

55kg級

小林勇斗(静岡翔洋中)

2回戦敗退

60kg級

長澤拓海(静岡学園中)

2回戦敗退

66kg級

田中友介(高台中)

1回戦敗退

73kg級

渡邊大虎(長岡中)

2回戦敗退

81kg級

飯田叶輝(高台中)

2回戦敗退

90kg級

鈴木大空(静岡学園中)

松村美来(永友会) 1回戦敗退
女子6年45kg超級 高田 樹(富士市柔道会) 3回戦敗退

4回戦(準々決勝) 敗退
4回戦(準々決勝) 敗退
4回戦(準々決勝) 敗退
女子個人戦 40kg級 岡本和花(藤枝順心中) 4回戦(準々決勝) 敗退

44kg級 勝亦千尋(市立沼津中) 2回戦敗退
48kg級 原田詩依菜(藤枝順心中) 1回戦敗退

52kg級 安食妃那(藤枝順心中) 3回戦敗退

57kg級 城本綾乃(静岡翔洋中) 3回戦敗退

63kg級 永井愛琉奈(引佐南部中) 2回戦敗退

70kg級 袴田彩郁(北浜東部中) 1回戦敗退

70kg超級 中道咲桜(静岡翔洋中) 1回戦敗退

国体東海ブロック大会

令和元年8月18日

津市スポーツ産業スポーツセンター

少年男子

1位 三重県

東海学生柔道体重別選手権大会

令和元年8月25日

愛知県武道館

男子団体戦

3位 静岡産業大学

男子個人戦

66kg級

2位 根布長聖生(静岡産業大学)

90kg級

2位 梶本祐揮(静岡産業大学)

100kg級

3位 池田光洋(静岡産業大学)

100kg超級

1位 市川航太(静岡産業大学)

以上の選手は、全日本学生柔道体重別団体優勝大会本戦出場。

2位 静岡県
3位 愛知県
4位 岐阜県

女子 1位 愛知県
2位 静岡県
3位 岐阜県
4位 三重県
少年男子1位、女子1・2位は本戦(茨城県)出場。

2019年度全日本学生柔道体重別選手権大会

令和元年9月28日、29日

秋田県立武道館

男子66kg級

根布長聖生(静岡産業大) 1回戦敗退

男子90kg級

梶本祐揮(静岡産業大) 1回戦敗退

男子100kg級

池田光洋(静岡産業大) 2回戦敗退

男子100kg超級

市川航太(静岡産業大) 2回戦敗退

2回戦敗退
女子57kg級 袴田佳名瑚(藤枝順心高) 1位
女子78kg級 高山美憂(藤枝順心高) 1回戦敗退
女子78kg超級 米川明穂(藤枝順心高) 3回戦敗退

第8回静岡県小学生学年別柔道選手権大会

令和元年9月15日

静岡県武道館

4年生男子軽量級

1位 橋本圭登(静岡東部柔道クラブ)
2位 平野瑛大(藤枝柔道クラブ)

3位 佐藤和空(静岡東部柔道クラブ)
4年生男子重量級 1位 池田英慎(柔好会)
2位 金子 翔(和道場)
3位 星谷愛彪(大仁柔道会)
神田琉空(葦山柔道教室)

4年生女子軽量級 1位 福尾理円(袋井スポーツ協柔道部)
2位 大橋知佳乃(富士共栄道場)
3位 小川佳奈子(葦山柔道教室)
松永凜音(南部柔友会)

5年生男子軽量級 1位 高岡颯人(富士宮柔道会)
2位 佐藤佑真(神土館)
3位 山崎雄大(藤枝柔道クラブ)
大城脩也(育誠館)

5年生男子重量級 1位 杉本 晴哉(育誠館)
2位 末岡アキラ(笠井柔道館)
3位 通場泰成(NPO武道学舎)
影山湊音(育誠館)

5年生女子軽量級 1位 鈴木彩夏(清水町柔道会)
2位 日吉七美(函南柔道会)
3位 福尾玲心(袋井スポーツ協柔道部)
山本琉愛(柔好会)
5年生女子重量級 1位 佐々木心瑞(清水町柔道会)
2位 山崎優花(育誠館)
3位 水野那菜(国土塾)

勝又美涼(御殿場市柔連)
6年生男子軽量級

- 1位 佐野迅羽(富士宮柔道会)
- 2位 中谷脩真(掛川柔道クラブ)
- 3位 加藤愛都(伊豆長岡柔道会)

石川拓実(垂山柔道教室)

- 6年生男子中量級
- 1位 藤田郁磨(富士市柔道会)
- 2位 杉山笑資(育誠館)
- 3位 門倉寛太(藤枝柔道クラブ)

狩野央輔(静岡南部柔道クラブ)

- 6年生男子重量級
- 1位 川合 遼(藤枝柔道クラブ)
- 2位 米山大夢(小山町柔連)
- 3位 庄司琉惺(小山町柔連)

大橋弘誠(豊田柔道クラブ)

- 6年生女子軽量級
- 1位 埴淵望愛(浜北柔道スポ少)
- 2位 園部葵麟(大仁柔道会)
- 3位 横野欽苗(清水柔道クラブ)

渡部香梨奈(静岡南部柔道クラブ)

- 6年生女子中量級
- 1位 松村美来(永友会)
- 2位 渡辺ミラノ(富士宮柔道会)
- 3位 今井葵彩(神土館)

川合莉心(伊豆長岡柔道会)

- 6年生女子重量級
- 1位 高田 樹(富士市柔道会)
- 2位 渡邊美海(神土館)
- 3位 渡邊夏希(永友会)

国民体育大会柔道競技

令和元年10月5日〜7日
龍ヶ崎市総合体育館たつのこア

リーナ(茨城県)

成年男子

- 1回戦 静岡県3-1岩手県
- 2回戦 静岡県0-1茨城県

女子 2位

- 2回戦 静岡県1-0愛媛県
- 準々決勝 静岡県2-0神奈川県
- 準決勝 静岡県①-1埼玉県
- 決勝 静岡県0-3福岡

令和元年度全日本柔道形競技大会

令和元年10月27日 講道館

古式の形

- 渡邊達也(静岡県警察) 6位
- 磯部正博

2019年度講道館杯全日本柔道体重別選手権大会

令和元年11月2日、3日

男子90kg級

- 千葉ポルトアリーナ
- 齋藤光星(静岡県警) 3回戦敗退

男子100kg級

- 久松達斗(静岡県警) 1回戦敗退

女子57kg級

- 袴田佳名瑚(藤枝順心高) 2回戦敗退(不戦)

女子70kg級

- 山本 杏(藤枝順心高) 2回戦敗退

女子78kg超級

米川明穂(藤枝順心高)

1回戦敗退(不戦)

令和元年度定通制柔道秋季大会

令和元年11月3日

三島長陵高校

男子団体

- 1位 浜松工業
- 男子個人 65kg級
- 1位 水野永遠(クラーク浜松)
- 2位 中山晟汰(浜松工業)
- 3位 平岡サトシ(浜松工業)

75kg級

- 1位 大石田孟(沼津工業)
- 2位 池田賢生(鹿島浜松)
- 3位 ジョナタヒデキ(新居)

90kg級

- 1位 大村マサシ(浜松工業)
- 90kg超級
- 1位 村井フェリペ(富士)

女子個人無差別級

- 1位 早坂萌花(クラーク浜松)

第61回静岡県柔道祭

令和元年11月4日

静岡県武道館

小学生の部

- 1位 育誠館道場
- 2位 藤枝柔道クラブ
- 3位 富士宮柔道会

中学生男子の部

- 1位 東海大学付属静岡翔洋中
- 2位 育誠館道場

3位 静岡学園中

長岡中

中学生女子の部

- 1位 東海大学付属静岡翔洋中
- 2位 市立沼津中
- 3位 長岡中

北浜東部中

高校生男子の部

- 1位 加藤学園
- 2位 静岡学園
- 3位 浜松商業

浜松城北工業

高校生女子の部

- 1位 藤枝順心
- 2位 東海大学付属静岡翔洋
- 3位 静岡学園

市立沼津

一般の部

- 1位 静岡県警察
- 2位 静岡事務所
- 3位 静岡産業大学A

和道場

令和元年度 静岡県高等学校新人体育大会柔道競技

令和2年1月18日、26日

静岡県武道館

男子個人戦

- 60kg級 1位 加藤遼馬(静岡学園)
- 66kg級 1位 辻本龍基(静岡学園)
- 73kg級 1位 林 颯太郎(東海大翔洋)
- 81kg級 1位 林 颯太郎(東海大翔洋)

1位 宇津山英弥(浜松城北工)

無差別級

1位 小田春樹(加藤学園)

女子個人戦

- 48kg級 1位 早瀬杏香(藤枝順心)
- 52kg級 1位 萩尾陽奈(藤枝順心)
- 57kg級 1位 杉山月琉(東海大翔洋)
- 63kg級 1位 柿澤夏美(藤枝順心)

無差別級

1位 金杉一葉(東海大翔洋)

男子団体

1位 加藤学園

女子団体

1位 藤枝順心

各階級1位は、令和2年3月21日(土)、22日(日)にALSOKぐんまアリーナで行われる全国大会に出場。

令和2年全日本柔道選手権大会県予選会

令和2年2月1日(土)

静岡県武道館

男子

- 1位 久松達斗(静岡県警察)
- 2位 齋藤光星(静岡県警察)
- 3位 正治和也(静岡県警察)

女子

- 1位 山本 杏(藤枝順心高)
- 2位 菊池優貴乃(静岡県警察)
- 3位 原田祐花(静岡県警察)

道場紹介

県内各地でがんばっている「道場」

を各地区2道場ずつ紹介します。

- ①名称
- ②住所(練習場所)
- ③連絡先
- ④代表者氏名
- ⑤所属人数

湖西おそんが柔道クラブ

- ②湖西市新居町中之郷1181 新居中学校武道場
- ③湖西市新居町浜名383-1 053-594-0509
- ④白井康二
- ⑤幼児3名、小学生22名、中学生10名、社会人14名

⑥道場紹介

湖西おそんが柔道クラブは2010年の町村合併により、新居町柔道スポーツ少年団から名称を変更しました。おそんがとはこの地方の方言でおそんがいか、おそがい、からきていて創設者の故正田一 元町長が昭和45年に新居中学に作った道場をおそんが道場と名付けられました。直訳すれば恐ろしい道場となりますが、柔道を徹して畏敬の念を持たれる人間になれば、という意味で付けたようです。

現在の稽古は、毎週水曜日午後7時15分から9時、土曜日午後4時30分から7時の2回と日曜は自主練習でつき2、3回中学生を中心に午後7時から9時まで行っています。クラブの特長として市のスポーツ少年団ですの、会費も安く柔道をやり

たくて入ってくる子どもばかりではないので、どうしても乱取り練習は少なくなり、稽古の半分は受け身や様々なトレーニングを入れて飽きないようにしています。乱取りが少ない分試合で勝つのは大変ですが、少しでも長く、できれば生涯にわたって柔道を楽しんでもらいたいと思っております。またやる気のある子とない子の差があり、一緒にやるのは工夫がいります。小学生の指導が一番難しいと思います。何かいいアイデアがございましたらご意見お願いします。少子高齢化で子どもの団員募集も大変ですが、御父兄の初心者が少しずつ柔道を始めてくれて女性で2名、男性で8名の父兄が初段をとりました。今後は大人の初心者も募り、柔道人口を少しでも増やしていこうと思っております。団員の御父兄は無料ですので柔道の黒帯が欲しい方、運動不足の方はお子さん共々に是非うちの道場へいらしてください。できれば団員の御父兄には柔道をしてほしいと願っています。今後も全員が嘉納治五郎師範の弟子として、日本伝講道館柔道の名に恥じない

よう、また約半世紀以上続いている湖西おそんが柔道クラブが、少しでも発展するよう全員で頑張っています。最後に弱いチームですが、合同練習はいつでも歓迎しますの連絡をお願いします



菊川市柔道スポーツ少年団

- ②静岡県立小笠高校格技場
- ③〒439-0003 菊川市沢水加1239 090-3483-2676(丸山)
- ④丸山 博行
- ⑤児童3名、小学生9名、中学生10名、社会人8名

⑥道場紹介

当道場の歴史は、現菊川市体育協会副会長の石川睦美先生が昭和52年に始めた柔道教室が始まりです。

現在は、県立小笠高等学校柔道場にて、高校の先生方のご協



力をいただきながら、小学生を中心に中学・高校・一般の団員と週2回の練習に汗を流しています。菊川市の中学校には、残念ながら柔道部がありませんが、中学校より部活動としての認定を得て中学校体育連盟の柔道大会にも毎年出場しています。これまでに柔道初段を取得した団員は50名を超え、皆、社会人や学生として様々な舞台で活躍しています。2018年には、全国小学生学年別柔道大会に出場選手を輩出しました。スポーツですから勝てば楽しいのは言うまでもありませんが、単に競い合うだけでなく、「他者への尊敬」の心を育んで、社会の役に立てる人材の育成を主眼としています。そのためにも、「初段の全員取得」を目標に掲げて、団員・父兄・指導者が一体になって活動しています。

服織道場

- ②〒4219-1215 静岡県静岡市葵区羽鳥本町129-14
- ③〒4219-1214 静岡県静岡市葵区建穂1丁目20番25号
- ④松永芳実
- ⑤幼児2名・小学生12名・中学生12名・高校生4名・大学生1名・社会人20名

⑥道場紹介

1984年(昭和59年7月)開設 午後7時～9時(幼児・小学生) 毎週水・土曜日(稽古日) 午後7時～10時(中学生・高校生・大学・社会人)

道場は最初に地域の公民館、次の青年団、その次に老人会が使用していた戦前の建物です。歴史と風格がある自慢の道場です。常に補修が必要です。

静岡県内で一番狭くて小さい道場です。23畳しかありません。駐車場は旧小学校跡地が使用できるのでもとて広いです。道場の理念は「心技体」と「気合」です。気合の稽古も常に行います。稽古時間が10時迄なので、たっぷり厳しい稽古ができます。厳しいだけではありません。豆まき・卒業送別会・夏まつり・忘年会等楽しい行事も行ってあります。狭き小さな道場ですが、全国制覇を目指して、誠実に努力して前進していきたいと思えます。

静岡東部柔道クラブ

- ②〒420-0801 静岡県静岡市葵区東千代田2-1-3
- ③静岡市東部体育館 054-264-8485 森携帯090-1986-0101
- ④森 順次
- ⑤小学生29名・中学生5名・高校生1名・社会人5名

⑥道場紹介

静岡東部柔道クラブは、平成2年に公益財団法人静岡市体育協会が主催している静岡市東部体育館柔道教室として発足し、小学一年生から中学生、高校生、一般の社会人までが汗を流し、一生懸命稽古に励んでいます。稽古は毎週月・木曜日の午後6時30分から午後8時45分までの約2時間15分です。スポーツ教室ではありませんが、団体・個人ともに全日本柔道連



盟への登録を行い、対外的には静岡東部柔道クラブとして、試合等に参加しています。

モットーは柔道の創始者、嘉納治五郎師範の説く「精力善用」「自他共栄」精神を習得するとともに「継続は力なり」を重点として修行しています。特に礼法は厳しく指導しています。

指導員は、静岡市柔道連盟から夜間スポーツ教室指導員として委嘱を受け、教室生10名に対して1名の指導員が指導することが義務づけられています。現在8名の指導員が技術指導および管理に携わり、怪我や自己等の防止に努めております。小学生は準備体操・受け身・打ち込み・乱取り等の基本的な練習に心がけています。今後とも指導ご協力をお願いいたします。



永友会

- ②〒410-0013 沼津市東熊堂491 飛龍高等学校柔道場
- ③〒410-0871 沼津市西間門484 090-9339-2926
- ④久保田 誠
- ⑤小学生12人、中学生7人、高校生4人、指導者4人

⑥道場紹介

永友会は、飛龍高等学校柔道場をお借りして平成二十九年四月に発足しました。

当道場は、挨拶や礼儀、返事を厳しく指導するとともに、感謝の気持ちを大切にすることを教えています。また、稽古では技の指導はもちろんですが、怪我をしない丈夫な体作りも行っております。

稽古は、毎週水、金曜日は午後七時から午後九時まで。土曜日は午後六時半から午後九時まで実施しています。

令和元年には、発足三年目にして、個人戦で県代表として全国大会を経験させて頂きました。とても貴重な経験であり、また他の子どもたちにも「全国に行きたい」という新たな目標にもなりました。

これからも、柔道を通して強い精神と体作りや、将来社会で通用する人間育成を目指して、日々精進していきます。

下田柔道会

- ②〒415-0021 下田市一丁目17-1
- ③0558-23-2688 090-2131-0667
- ④小林 繁雄
- ⑤小学生15人、中学生2人、社会人24人

⑥道場紹介

下田柔道会は、故大村新三六段が、昭和一七年に「賀茂柔道有段者会」を設立したのが始まりです。その後、戦争による中断の時期もありましたが、昭和三十一年に「下田柔道会」として新たに活動を始めました。

稽古は、週二回行っています。特徴としては一般の方々（指導者）が共に汗を流し、小中学生



の稽古相手となります。加えて指導者同士が互いに稽古し、「賀茂柔道選手権」に参加します。親子で稽古する、又は大会に出場するケースも多く見られます。

特徴的な大会としては「神新伊豆地区交流少年柔道大会」があります。神津島、新島等の伊豆七島と伊豆地区の小中学生が柔道の大会を通して交流する素晴らしい大会です。歴史は古く令和元年で三十七回になります。

賀茂地区は少子化、過疎化が進み、小中学校の合併も多く見られ、地域の生徒数は最近三十年で約三分の一となりました。そのような状況ではありますが、下田柔道会（賀茂地区）では多くの子供たちが稽古に励んでおります。今後も、一人でも多く大会で勝てる選手を育成するとともに、礼儀を大切に、人格形成を目的に活動していきます。



新人選手紹介コーナー

今年も多く選手(5名1団体)が全国大会で優秀な成績を収めてくれました。取材する側にとっては大変ありがたく、同時に話を伺える喜びも感じているところです。以下、インタビュー記事を掲載いたします。なお国体女子チームについては、国体報告の欄をご覧ください。



佐々木心瑞さん
(清水町柔道会)

第16回全国小学生学年別柔道大会小学5年生女子40kg超級優勝

佐々木さんが柔道を始めたきっかけは4歳の頃。兄姉が柔道をしていため、自分もやってみたくなったからだそうです。普段の練習で心がけていることを尋ねると、「とにかく前に出る、下がらないこと」だそうです。そして常に自分から技を仕掛けていくことを意識しているそうです。「全国大会では、立ち技から寝技へ移っていくことが多かったのですがそこを確実に押さえて一本を取れたことが大きかった」と語ってくれました。指導されている澤崎先生も「とにかく練習の虫。自分で取り組む姿勢がある子なので」と目を細めていらつしゃいました。今後の目標を聞いたところ「5年生では全試合一本勝ちで優勝できた。6年生になってもオール一本勝ちで連覇を目指したい」と意気込みを語ってくれました。常に前に突き進む試合展開で、連覇を達成してほしいものです。



初段 加藤遼馬さん
(静岡学園高校)

令和元年度全国高校総体男子60kg級3位

「全国大会で結果が出ていなかったため、今回3位に入賞したことはうれしさがあります。しかしうれしさがある反面悔しさの方が大きいです」と話し始めた加藤選手。常に上を目指す向上心旺盛な選手だと感じました。「練習は常に全力でやる。努力は自分のためだから」と語るとともに「勝負は時の運でもある。だからそうした運が自分のところに来たらしっかりとつかめるよう、日常生活から心を整えることも大切だとも感じます」と述べてくれました。監督の渡部先生も「とにかく負けん気が強い子で、自分の後ろ姿でチームを牽引するリーダー」と信頼されている。次年度の目標は、という問いに対して「個人では全国優勝。団体では、とにかく全国大会へ駒を進めたい」というところを見せたい」と力強く語ってくれました。



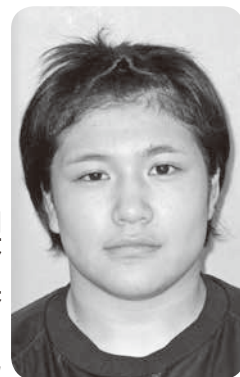
初段 袴田佳名瑚さん
(藤枝順心高校)

令和元年度全国高校総体女子57kg級2位

令和元年度全国高校総体女子団体3位
全日本ジュニア体重別選手権大会女子57kg級優勝
世界ジュニア体重別選手権大会女子57kg級2位
2020年ドイツ国際女子57kg級優勝

去年に続いての登場となった袴田さん。多忙な中でのインタビューにも快く答えていただきました。取材に訪れたのは11月下旬。開口一番、お待ちしてすみません」と言ってお礼に駆け込んできてくれました。世界ジュニアについて話を伺うと、「とにかく外国の選手は力が強くて……。でも自分のリズムで試合することを心がけました」また「去年までは思い通りの試合運びができないと焦ったり雑になったりと、自信をコントロールできない場面があったけれど、今回は『今まで自分がやってきたことを信じていけば大丈夫』と思えるようになったことが一番の成長だと感じています」と笑顔で答えてくれました。日の丸をつけて

国際大会に臨むことは、柔道家ならば誰もが憧れを持つものです。まして国際大会で優勝することは偉業といえます。今後は大学でさらに柔道が続けるということです。



初段 山本 杏さん
(藤枝順心高校)

令和元年度全国高校総体女子70kg級2位
令和元年度全国高校総体女子団体3位
令和元年度茨城国体女子団体2位(副将)

「インターハイ団体の1日目はとにかく自分が足を引っ張ってしまつて……。でも2日目から気持ち切り替えることができたので、何とか少しはチームに貢献できたのかなって思います。」と団体戦について振り返ってくれた山本さん。どんな試合展開が理想ですか?と訪ねたところ、「常に前に出て攻める気持ちを忘れない試合をすること」と即座に答えてくれました。個人戦について訪ねると、「不安はあったのですが、自分の良さを出せるように、と心がけました。」「相手の圧力に負けて下がってしまうと、気持ちの面でも負

けてしまおうと感じたので、そこだけは絶対譲れないぞって考えていました。」と語ってくれました。2位という結果については「満足している部分もありますが、負けてしまったからの結果だと思えます。」と悔しさを語ってくれました。強気の攻めの姿勢を堅持することの重要性を口にしてくれました。



初段 米川明穂さん
(藤枝順心高校)

令和元年度全国高校総体女子78kg超級優勝
令和元年度全国高校総体女子団体3位
全日本ジュニア体重別選手権大会女子78kg超級3位
令和元年度茨城国体女子団体2位(大将)

このコーナーに3年連続で登場していただくことになった米川さん。今回はコーチの米村先生から米川さんについてのお話を伺うことができました。米村先生は4月に藤枝順心高校のコーチに就任されましたが、米川さんを初めて見た時の印象を「この子が全国制覇できないはずがない」と確信に近いものを感じ

たそうです。「柔道に取り組む姿勢はもろろんのこと、日常生活も真摯に取り組んでいる姿は本当に模範的生徒です。」とも語ってくれました。高校卒業後はさらなる高みを目指して柔道を継続していくとのことですが、過去には国際大会で3位入賞を果たした実績もある米川さんですから、次のステージでさらなる飛躍を遂げた姿を見せてくれるものと信じています。彼女の今後に大いに期待したいと思っています。

藤枝順心高校

令和元年度全国高校総体女子団体3位

先鋒 袴田佳名瑚さん
中堅 山本 杏さん
大将 米川明穂さん



普及活動

静岡県柔道協会西部支部

神谷 元久

令和元年7月28日(日)に講道館新館2階教室に於いて、救護担当者講習会を受講してきました。

1 柔道大会運営の救護について 審判規定と医療スタッフの役割

配布資料に重要な事項が記載されています。

IJFのサイトの中にSORについて記載されています。メデイカル & アンチドーピング

試合者が絞めで落ちた場合、IJFルールでは、主審は活法を行わない。しかし、今年度の兵庫県で開催される全国中学校総体は、主審が活法を行うことに決まった。大会ごとに取り決りをすべきである。

試合中に脳震盪を起こした場合、7日間は試合に出場させない。

2 柔道における外傷の初期対応

出血の処置については、

2019年第一回柔道救護担当者講習会を受講して

救護者は必ずゴム手袋を着用し、感染を防止する。肝炎のキャリアは非常に多い。頸椎損傷における初期対応を学んできました。

- (1) MILS (頸椎保護の仕方)
- ・ 仰向け
- ・ うつ伏せ

- (2) ログロール(仰向け)
- 意識がない試合者の首はそのままとし、動かしてはいけない。
- 意識がある場合は、意識、四肢の動作確認を行った後に頭部を中立に保つ。

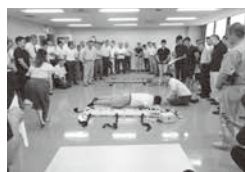
- (3) スパインボードへの移動・固定
- ログロールの後に固定して移動となっているが、救急隊を要請した場合、救急隊もバッグボードを携行し固定を行います。

※頸椎の保護については、平成22年9月5日浜松市武道館で行われた静岡県少年柔道協議会の講習会で指導を取り入れていきます。その後、指導者更新講習会でも数回実施していきます。

全柔連でも、頸椎保護の重要性を説明しています。

今回の講習会で実技はありませんでしたが、心肺蘇生法とAEDの取り扱いについては、熟知するように先生からお話がありました。

別件ですが、浜松養神館の前田先生が、心肺停止の男性に胸骨圧迫を施し、社会復帰させるといったことが新聞にて報道されました。この勇気ある行動に浜松市消防局消防長から感謝状が贈呈されました。なかなか手を出さないことではありますが、定期的な講習を受けているため、迷わずに救命手当てを行うことができました。



第31回マルちゃん杯中部少年柔道大会開催

令和元年6月2日、浜北グリーンアリーナにおいて、マルちゃん杯中部少年柔道大会が開始された。小学生59チーム、中学男子63チーム、中学女子38チームによる熱戦が繰り広げられた。次年度は三重県にて開催される予定である。結果並びに全国大会出場チーム並びに個人表彰者は以下の通りです。

小学生の部

- 1位 大石道場 (愛知)
- 2位 鶴来坂田道場 (石川)
- 3位 柔心会 (富山)
- 3位 岐阜北柔道クラブ (岐阜)

中学男子の部

- 1位 大成中学校 (愛知)
- 2位 白山市立北辰中学校 (石川)
- 3位 東海大学付属静岡翔洋中等部 (静岡)
- 3位 静岡学園中学校 (静岡)
- 5位 福井工業大学附属福井中学校 (福井)
- 5位 内灘中学校 (石川)

中学女子の部

- 1位 愛知真和学園大成中学校 (愛知)
- 2位 学校法人桜丘学園桜丘中学校 (愛知)
- 3位 福井工業大学附属福井中学校 (福井)
- 3位 東海大学付属静岡翔洋

中部部 (静岡)

個人表彰者

(小学生の部)

- 最優秀選手賞 (フレッドワダ杯) 濟木恒栄 (大石道場)
- 敢闘選手賞 (佐藤五八郎杯) 川合 遼 (藤枝柔道倶楽部)
- 優秀選手賞 西村和真 (大石道場)

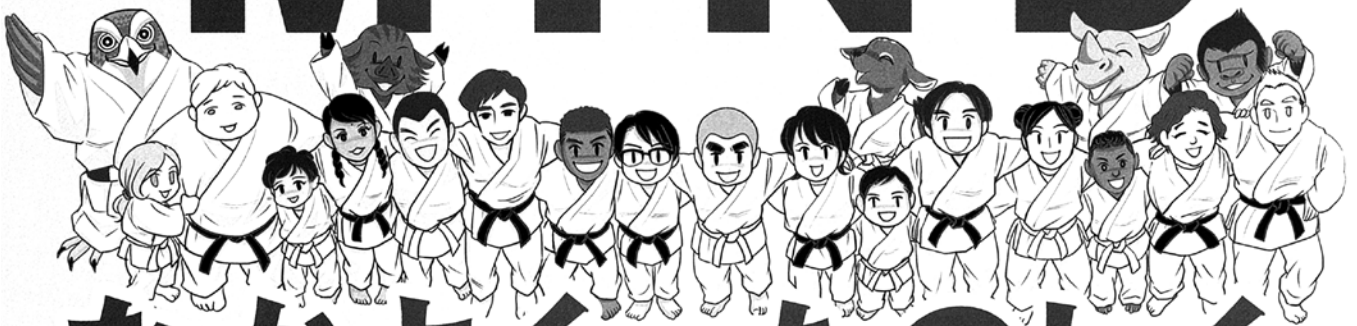
(中学男子の部)

- 最優秀選手賞 (フレッドワダ杯) 鈴木恵介 (大成中学校)
- 敢闘選手賞 (佐藤五八郎杯) 牧野夢希 (東海大学付属静岡翔洋中等部)
- 優秀選手賞 鈴木魁人 (大成中学校)
- 源田大路 (北辰中学校)
- 福田悠真 (北辰中学校)
- 杉山彪真 (東海大学付属静岡翔洋中等部)
- 鈴木大空 (静岡学園中学校)

(中学女子の部)

- 最優秀選手賞 (フレッドワダ杯) 飯田星那 (愛知真和学園大成中学校)
- 敢闘選手賞 (佐藤五八郎杯) 安竹克海 (東海大学付属静岡翔洋中等部)
- 優秀選手賞 小椋遥海 (学校法人桜丘学園桜丘中学校)
- 柘植あおり (東海大学付属静岡翔洋中等部)
- 中井咲羅 (福井工業大学附属福井中学校)

M I N D



なかよく、たのしく

編集後記

「柔道しずおか」第23号刊行にあたり、少柔協をはじめ、中体連、高体連、大学高専、警察、強化部等多くの皆様方のご協力を賜りましたことをここに心からお礼申し上げます。今年には特に試合結果に関して情報提供がスムーズになされたことが大きな進歩であったと感じております。情報共有や情報一元化といったことが多くの組織で進んでいる中、様々な改革が進められていくことがいかに重要かということを感じております。

さて今年はいよいよオリンピックやパラリンピック、そして静岡県であれば全国中学生柔道大会が開催される年です。多くの先生方をはじめ、関係各所におかれまして地道な努力と準備に余念がなく忙しい日々を過ごされているかと存じます。皆様方の努力が報われ、各大会が成功裏に終わることを祈っております。

